マダガスカル　ホストタウン登録申請中！

東京2020オリンピック出場を目指し
コロンビア・マダガスカル女子ラグビーセブンズ代表
合同強化合宿決定！
令和元年6月17日(月)～6月26日(水)

市では、全国・世界レベルのスポーツ合宿や大会を誘致し、スポーツツーリズムによる「観光立市郡上」のため、スポーツ施設の整備を進めてきました。

平成30年度は、コロンビア共和国のホストタウンに承認され、7人制女子ラグビーのコロンビアユース代表選手たちが郡上市で合宿を行いました。

郡上市合宿の活動をインターネットで見られたマダガスカル共和国のラグビー連盟が、郡上市に強く関心を持たれたことがきっかけとなり、市が東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録の申請をしました。

郡上市から目指す 東京2020オリンピック 競技大会

東京2020オリンピック競技大会に向け、多くの予選が各地区で始まり、予選突破を目指して、各国の代表チームの強化合宿が始まっています。

◆ロマンあふれる事前合宿

最終予選が目前となり、各チームは、対戦相手に情報を知られたくないと考えています。

コロンビアとマダガスカルは遠く離れており、予選大会では、決して対戦する事のないチーム同士です。1万km以上離れて生活している両国の選手が、郡上市で東京2020オリンピック競技大会を目指し、10日間共同で強化合宿を行うことにロマンが感じられます。

◆強豪国による合同合宿というビッグプロジェクト

この合同合宿を市民のみなさんに共有していただけるよう、今月号と来月号にわたり両国を紹介し、郡上市から東京2020オリンピック競技大会を目指す両チームをみなさんと一緒に応援したいと思います。

今回は、郡上市から約1・1万km離れたマダガスカルについて紹介します。

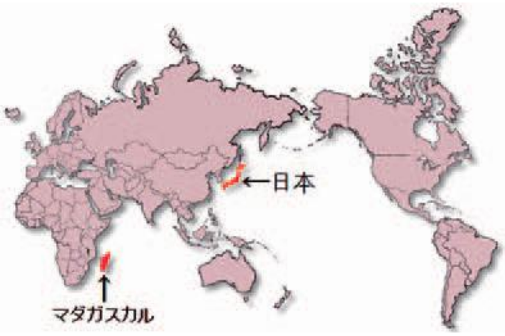
マダガスカルはどんな国？

マダガスカルと聞いて、名前は知ってるけど、どこにあるのか分からない人が大半かと思います。マダガスカルは、アフリカ大陸の東側に位置する島国で、国土面積は、日本の1・6倍と、島としては世界で4番目の大きさとなります。

人口は2，450万人、言語は、マダガスカル語（母国語）とフランス語（公用語）です。

また、マダガスカルは「最後の楽園」と呼ばれるほど大自然に恵まれ、生息する動植物の約8割がマダガスカルにのみ生息する固有種です。

マダガスカルの固有種を代表する動物といえば、ワオキツネザルで、サルっぽくない顔つきでかわいいとのことです。



「ワオキツネザル」

マダガスカルの人たちのルーツ

マダガスカル国民は、アフリカ人であり、またアジア人という意識を持っています。それはいくつかの伝統にも見受けられ、特に地方の様々な方言や話し言葉に見られます。

諸説ありますが、マダガスカルの人たちの祖先は東南アジアにルーツがあると考えられています。

主食はお米で、日本人の約2倍の量を食べています。合宿中は、郡上のおいしいお米を食べてハードな練習を乗り切って欲しいと思います。

マダガスカルの人気スポーツ

マダガスカルで人気のあるスポーツは、マダガスカルの伝統的なスポーツの他に、ラグビー・サッカー・ペタンクとキックボクシングです。現在、マダガスカルのラグビー人口は約76，000人でアフリカ大陸では南アフリカに次いで2位の競技者数を誇ります。女子ラグビー選手も多く、学生もいれば、子育てをしながらラグビーをしている選手もいます。マダガスカルラグビー連盟は、東京2020オリンピック競技大会出場に向け、2年前から日本人コーチを招き強化を図っています。

日本人コーチのマダガスカルの紹介

親日派が多いマダガスカル

日本の対マダガスカル経済協力、広報文化活動が高く評価されていることから、マダガスカル国民が抱く日本への期待や日本留学等の憧れは強く、マンガ・アニメを中心とする日本のポップカルチャーの普及とも相まって、日本語学習者数はケニアを抜いてアフリカ地区第1位です。

マダガスカル国民の日本への関心は非常に高く、とても友好的です。マダガスカルの選手のみなさんが郡上市に合宿に訪れた際は、ぜひ応援をお願いします。そして、マダガスカルの文化に触れ、学んでみてはいかがでしょうか。

練習風景

駐日マダガスカル大使館
ミレイユ・ラクトゥマララ特命全権大使から郡上のみなさんへ

駐日マダガスカル大使館として、ホストタウン登録を行ってくれる自治体を探していたので、郡上市が登録に積極的であると聞き、大変うれしく思います。

マダガスカルと日本の交流は50年近くになりますが、今までは農業や観光面の経済的な交流だけでした。

今回、スポーツでの交流ということで、ラグビーやホストタウン登録をきっかけとして、マダガスカルを郡上市や日本のみなさんに知ってもらえるチャンスをいただいたことに大変感謝しております。